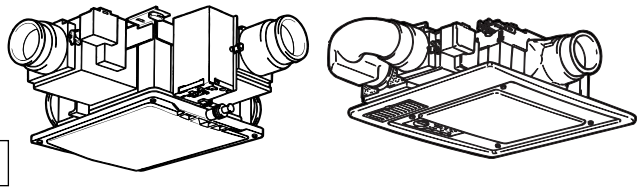
MITSUBISHI

0711873HA5304



エアフロー環気システム　サニタリー換気ユニット

形 名

住宅用

V-180SZ4,V-180SZ4-N
V-180SZU4-N

取扱説明書 お客さま用

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、同封の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

お客さま自身では取付けないでください。(安全や機能の確保ができません)
取付場所・取付けに関して不具合があった場合は販売店へご相談ください。

この商品は日本国内専用ですので、日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること……1
特長……2
システム例……3
各部のなまえ……3
使用上のお願い……3
使用方法……4～5
お手入れのしかた……6～7
ドレン処理のしかた……7
修理を依頼する前に……7
アフターサービス……8
仕様……8

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●**内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない** 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因
禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因
水ぬれ禁止	●**本体各部に直接水やお湯、かび取り剤等をかけない** ショート・感電の原因
分解禁止	●**改造や工具を必要とする分解はしない** 火災・感電・けがの原因
指示に従う	●**交流100Vを使用する** 直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因
指示に従う	●**お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る** 感電・けがの原因
アース確認	●**湿気の多い場所で使用する場合は、アースが取付けられているか確認する** 故障・漏電のときに感電する原因 アースの取付けは販売店、電気工事店にご相談ください

⚠注意

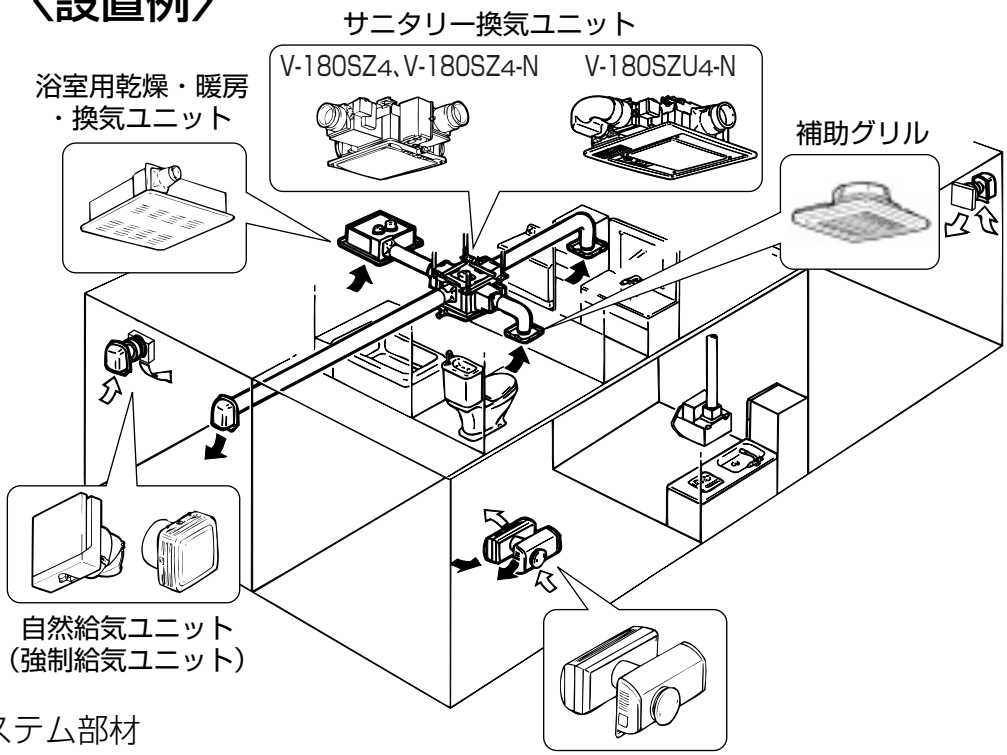
誤った取扱いをしたとき、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

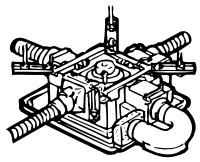
禁止	●**本体に異常な振動が発生した場合は使用しない** 本体・部品の落下によるけがの原因
禁止	●**直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない** 火災の原因
指示に従う	●**電気工事は必ず電気工事店に依頼する** 感電の原因
指示に従う	●**お手入れ後の部品の取付けは確実に行う** 落下によるけがの原因
指示に従う	●**お手入れの際は手袋を着用する** 着用しないとけがの原因
指示に従う	●**長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因

特長

サニタリー換気ユニットは、次のシステム部材と組合わせて「高気密住宅用24時間小風量換気システム」として使用します。

〈設置例〉





V-180SZU4-Nの場合

システム部材

- 自然給気ユニットまたは
  強制給気ユニット
- 補助グリル（フィルター付タイプ）
- 深形フード、耐外風高性能フード類

〈高気密住宅用24時間小風量換気とは〉

現代の住宅は高気密化が進み、自然に頼った換気だけでは室内空気環境が悪化します。そこでこのシステムでは必要な風量（小風量）で24時間（常時）換気を行うことにより、室内空気環境の悪化を改善します。

〈システムの特長〉

①定風量機能で過不足のない換気が実現できます。（SZ4のみ）
※SZ4-N、SZU4-Nには「定風量コントロール機能」はありません。

②小風量換気で省エネ・低騒音運転ができます。

③24時間小風量換気システムは標準的な設置では約8Wの消費電力で浴室・トイレ・洗面所の換気ができます。

④浴室・トイレ・洗面所の風量切換（強・24時間）が可能です。

形名	風量切換
V-180SZ4	各室個別
V-180SZ4-N V-180SZU4-N	全室同時

〈システムの効果〉

①住宅内の湿気を排出し、結露を防止してカビ・ダニの発生を抑制します。

②部屋の中に発生する炭酸ガス等の汚染物質や臭気を排出し、新鮮空気を補給して空気のよどみを解消します。

〈24時間小風量換気方式の概念〉

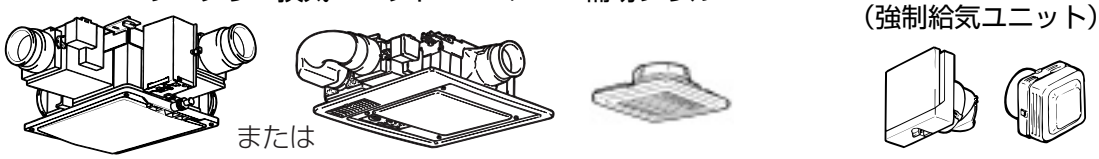
居室からサニタリーへの一方通行の換気通路を確保して、湿気・炭酸ガス・臭気の拡散を防止します。

システム例

下記のどのシステムになっているか確認してください。

システムⅠ

サニタリー換気ユニット　＋　補助グリル　＋　自然給気ユニット（強制給気ユニット）

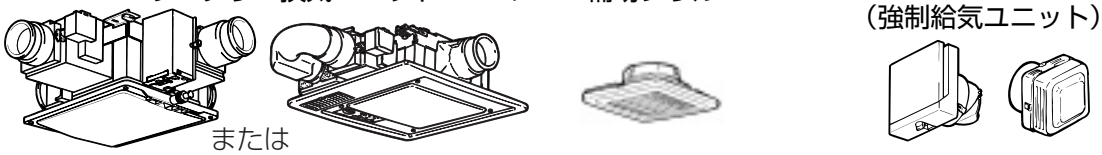


システムⅡ

サニタリー換気ユニット　＋　補助グリル　＋　自然給気ユニット（強制給気ユニット）　＋　浴室用乾燥・暖房・換気ユニット

システムⅢ

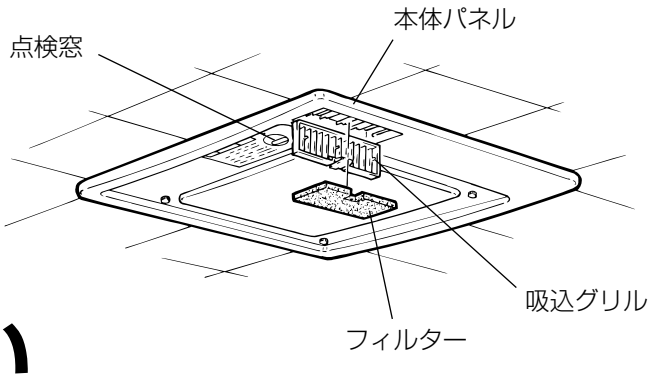
サニタリー換気ユニット　＋　補助グリル　＋　自然給気ユニット（強制給気ユニット）　＋



浴室用乾燥・暖房・換気ユニット　＋　住宅用ロスナイ(シャッター付)

各部のなまえ

V-180SZU4-N

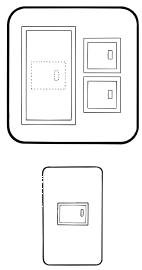
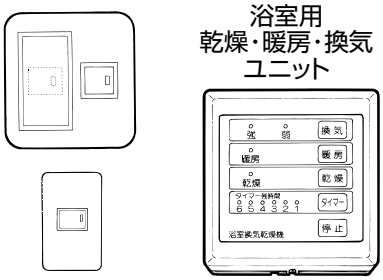
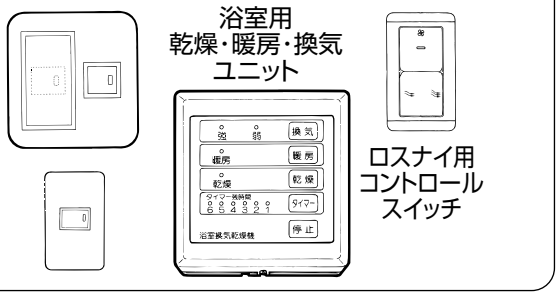


使用上のお願い

浴室など湿気の多い場所ではグリルから水滴が落ちることがありますが、滴下する場所を避けてご使用ください。	補助グリルや給気ユニットのグリルをふさぐように障害物を置かないでください。 (十分な換気ができません)
本体パネルやグリルにスプレーをかけないでください。 (本体パネルやグリルが破損することがあります)	V-180SZU4-Nを浴室以外に取り付ける場合で、運転しない時間が長いと本体内部に結露水が溜まります。万一本体パネルの点検窓（7ページ参照）に水が確認された場合は、風量切換スイッチを「強」運転し、水が窓から見えなくなるまで乾燥させてください。

使用方法

システムにより操作するスイッチが異なります。どのシステムになっているか確認してください。（下記はスイッチの例です。個々のスイッチに分けられている場合もあります）

システムⅠ	システムⅡ	システムⅢ
		

機能説明

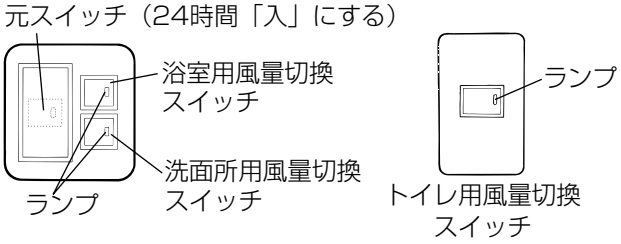
どのシステムの場合でも24時間小風量換気を行うためサニタリー換気ユニットおよび強制給気ユニットの元スイッチは「入」状態でご使用ください。
また、自然給気ユニットは「開」状態でご使用ください。

（給気ユニットから給気され、洗面所・浴室・トイレから排気することにより24時間住宅全体の換気を行っています。
給気ユニットとロスナイについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。）

運転モード

・V-180SZ4の風量切換え（強または24時間）は洗面所・浴室・トイレをそれぞれ単独で行うことができます。
・V-180SZ4-N、SZU4-Nの風量切換えは全室同時となります。

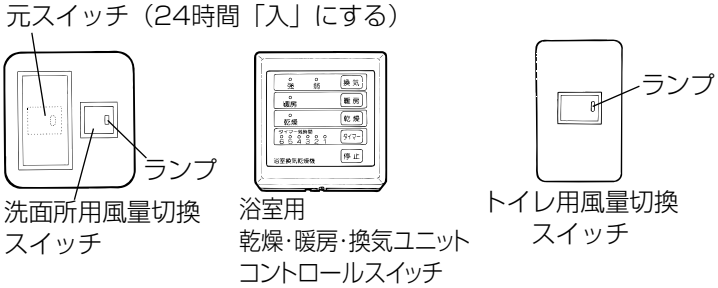
システムⅠの場合の操作



■急速に換気したいとき風量切換スイッチを右側に押すと、ランプが点灯し「強」運転に切換わります。

※V-180SZ4-N、V-180SZU4-Nでは浴室と洗面所の風量切換スイッチは共用されている場合があります。

システムⅡの場合の操作



■システムⅠに浴室用乾燥・暖房・換気ユニットが取付けられている場合がシステムⅡです。

●洗面所・トイレを急速に換気したいときは、風量切換スイッチを右側に押すとランプが点灯し「強」運転に切換わります。

●浴室は乾燥・暖房・換気ができますので浴室用乾燥・暖房・換気ユニットに同梱の取扱説明書をご覧ください。

（例：換気・乾燥モードの場合は「強」運転。
暖房・停止モードの場合「24時間」運転。）

サニタリー換気ユニットの風量切換スイッチと運転状態の関係

＜V-180SZ4の場合＞

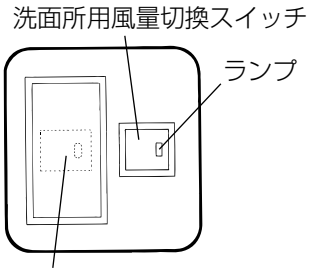
浴室用乾燥・暖房・換気ユニット運転モード※		換気か乾燥		換気か乾燥		暖房か停止		暖房か停止	
サニタリー換気ユニット風量切換スイッチ	洗面所	入	入	切	切	入	入	切	切
	浴　室	※浴室用乾燥・暖房・換気ユニットに連動							
	トイレ	入	切	入	切	入	切	入	切
サニタリー換気ユニット運転状態	洗面所	強	強	24時間	24時間	強	強	24時間	24時間
	浴　室	強	強	強	強	24時間	24時間	24時間	24時間
	トイレ	強	24時間	強	24時間	強	24時間	強	24時間

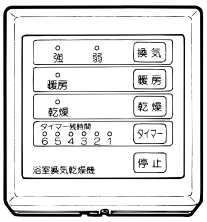
＜V-180SZU4-N、SZ4-Nの場合＞

浴室用乾燥・暖房・換気ユニット運転モード※	換気か乾燥	換気か乾燥	暖房か停止	暖房か停止
換気ユニット風量切換スイッチ	入	切	入	切
換気ユニット運転状態	強	強	強	24時間（弱）

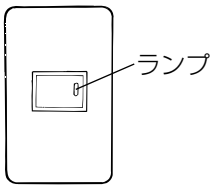
※換気・乾燥モードで「強」運転する場合の例です。

システムⅢの場合の操作

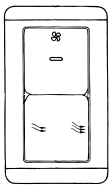




浴室用
乾燥・暖房・換気ユニット
コントロールスイッチ



トイレ用風量切換
スイッチ

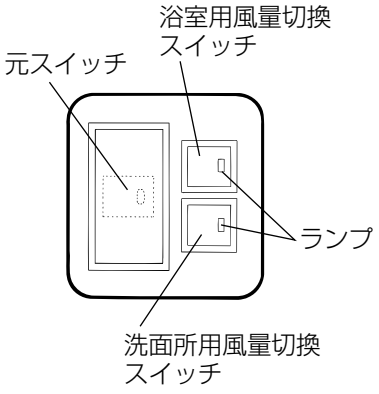


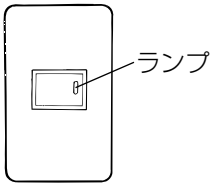
ロスナイ用
コントロール
スイッチ

■システムⅡにロスナイが取付けられている場合がシステムⅢです。
ロスナイは運転時はもちろん停止時でもシャッターを「開」状態にしてください。
給気口として使用します。

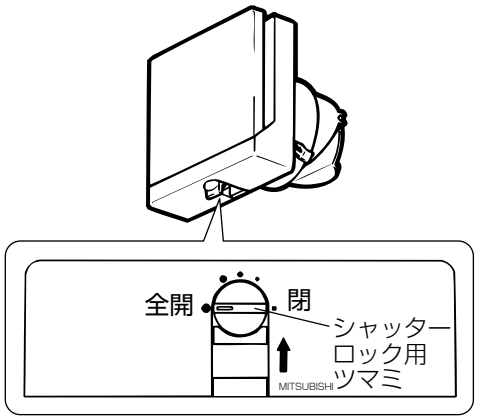
●ロスナイに同梱の取扱説明書をご覧ください。

上手にお使いいただくには





トイレ用風量切換
スイッチ



■元スイッチについて

●24時間「入」状態で使用しますが、長期不在・点検時には「切」にしてください。

■風量切換スイッチについて

●浴室・洗面所は水蒸気等を急速に排出したいときなど「強」運転に切換えます。

●入浴後は「強」運転（約 3 時間）をして浴室を乾燥させます。使用後は湯を落とすかふたをしてください。

●トイレは臭いを急速に排出したいときなど「強」運転に切換えます。

■給気ユニットについて

●この給気ユニットは、通常「全開」状態で使用しますが、台風など外風の侵入がはげしいときはパネル下部のシャッターロック用ツマミを回転させ「閉」にします。
その後は必ず「全開」状態にすることを忘れないでください。

●製品によって使用方法が異なります。それぞれの取扱説明書をご覧ください。

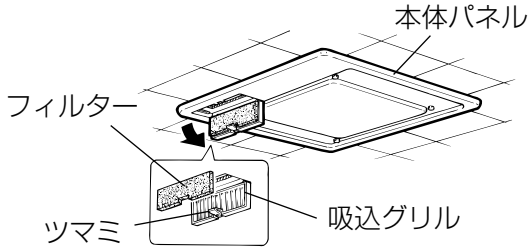
ツマミ位置（シャッター開閉状態）	使　用　状　態
全開 ●	・通常使用するとき
↕ ● ● ●	・給気量が多くて寒いときなどに風量を少なくするとき
閉 ■	・台風などの外風の侵入が強いとき、または、冬場の給気による肌寒さを感じるとき

お手入れのしかた

浴室用乾燥・暖房・換気ユニット、ロスナイ、強制給気ユニットについてはそれぞれの取扱説明書を参照してください。ここでは補助グリルと自然給気ユニットのお手入れについて説明します。
フィルターやグリルにほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になりますので約2か月に1度を目安に清掃してください。

清掃部品のはずしかた

1



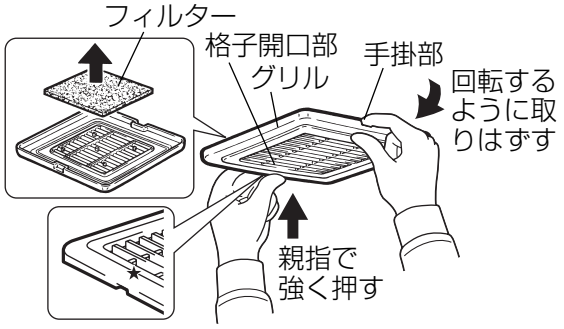
＜V-180SZU4-Nのみ＞

■本体

1 吸込グリルのツマミを押して吸込グリルをひらく。

2 フィルターを吸込グリルからはずす。

2



■補助グリル（P-13GLFタイプ）

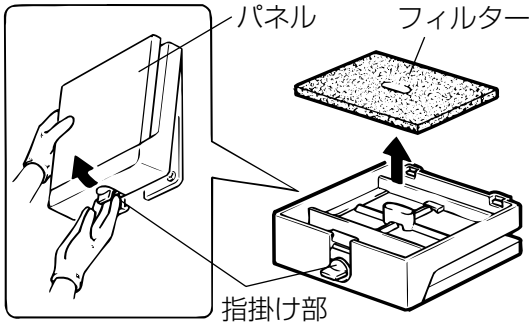
1 グリルをはずす。

●左図の格子開口部外周の★印位置（製品には表示していません）を左手親指で強く押します。

●左手で押しながら反対側の手掛部に右手人差し指を掛け、右手親指をグリル表面にあてがい、つまんだ状態で矢印のように回転させながら下側に引きます。

2 グリルからフィルターを取り出す。

3



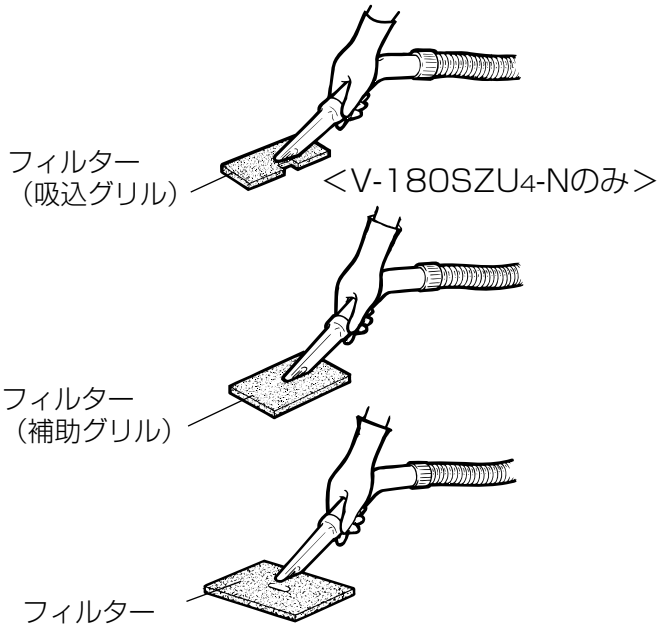
■自然給気ユニット（P-13KQU2）

1 パネルをはずす。

●パネルの下部の指掛け部に指を掛け、手前に引いてはずします。

2 パネルの内側からフィルターを取り出す。

フィルターの清掃のしかた



〈再生タイプ〉

●フィルターの清掃は、軽く手でたたくかまたは、掃除機でほこりを吸い取る。
汚れのひどい場合は、水または、ぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

お願い

●熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
●水洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。
●火にあぶることは絶対に行わないでください。

〈自然給気ユニットの場合〉

●フィルターは水洗い5～6回を目安に交換してください。
(交換用フィルターP-13KQFH)
●フィルターを入れ忘れますと壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないでください。
●外気の汚染状態によっては、壁、天井に汚れが付着することがあります。汚れが目立ってきたら清掃してください。

その他の清掃

本体パネル・吸込グリルの汚れは、ぬるま湯で浸した布をかたくしぼってふき取る。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

お願い

●お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤
(変質・変色する原因になります)

各部品の取付け

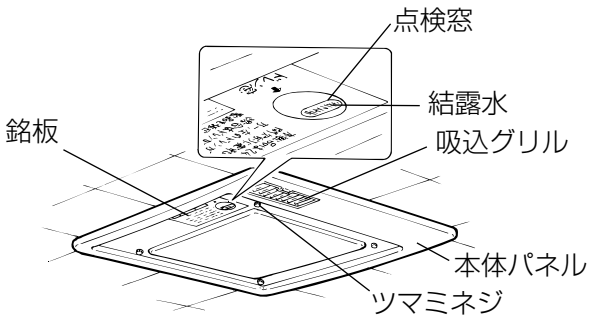
各フィルター・本体パネルを元通り取付ける。

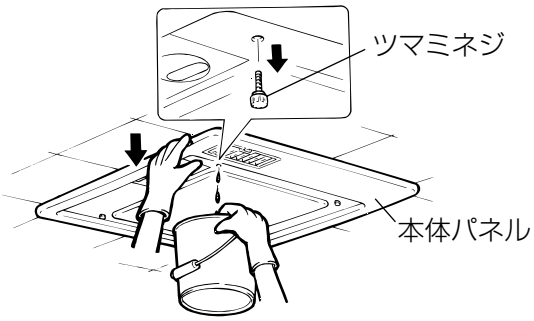
ドレン処理のしかた

V-180SZU4-Nのみ

サニタリー換気ユニットは24時間換気ユニットです。元スイッチを常に「入」にしている限り結露水（ドレン水）は本体内に溜まりませんが、下記のような使いかたをした場合、点検窓に水が溜まり満水に近いことをお知らせします。ときどき水がないことを確認してください。（点検窓に水が確認されたときの保水量は約1.4リットルです）

- ●浴室使用時のみ運転
- ●電源元スイッチを「切」にする時間が多い　⇨ドレン水が溜まります
- ●24時間風呂のふたを開けたままにしている





点検窓に水が溜まった場合

「強」運転にする

メモ

- ●24時間運転し続ければ水が溢れることはありません。
- ●「強」運転すると点検窓の水は1日程度で乾燥します。その後も元スイッチを切らずに運転（「24時間」でも「強」でも可)すると、本体パネル内の水は徐々に少なくなります。

上記ドレン処理をしなかった場合

本体パネルの吸込グリルから水が溢れ出します。
(パネル内保水量：2.4リットル(約2.4kg)程度)

1 結露水を抜く
- ●吸込グリル側のツマミネジ(1か所)をはずし、本体パネルを少し傾けて、バケツなどで水をうける。

2 水抜き後、ツマミネジを元の位置に取付け、24時間運転をする。

3「点検窓に水が溜まった場合」と同じ処置をする。

お願い

- ●ツマミネジを2か所以上はずすと本体パネル内の水が一度にこぼれます。絶対にしないでください。
- ●本体パネルを本体からはずす場合は、水がこぼれないよう十分注意してください。

修理を依頼する前に

下記のような症状があれば点検してください。

症　状	原　因	点検・処置
換気扇からアラーム音がきこえる(V-180SZ4のみ)	換気扇の故障です	・元スイッチを「切」にする ・修理の依頼をする
換気しない（運転しない）	元スイッチが「切」になっている停電している 分電盤のブレーカーが切れている	・元スイッチを「入」にする ・ブレーカーを「入」にする
運転中に異常音や振動がある	補助グリルのフィルターが目詰まりしている	・フィルターを清掃する

点検・処置をしても直らない場合は、元スイッチと分電盤のブレーカーを「切」にして必ず販売店に修理を依頼してください。

アフターサービス

三菱エアフロー環気システム サニタリー換気ユニットのアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご相談ください。

■補修用部品の保有期間

当社はこのサニタリー換気ユニットの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

形　　名	電　圧（V）	周波数（Hz）		風量内訳(標準) (m³/h)	浴室	洗面所	トイレ	消費電力（W）	騒音（dB）	質量（kg）
V-180SZ4	100	50・60	24時間運転	60	20	20	20	5.0	26	6.7
				90	30	30	30	6.0	27	
				120	40	40	40	8.0	31	
				200	100	40	60	16.0	37	
				250	100	50	100	30.0	42	
V-180SZ4-N V-180SZU4-N	100	50・60	24時間運転	60				4.5	26	6.0（SZ4-N） 7.0（SZU4-N）
				80				6.0	27	
				100				8.0	31	
				120				10.0	35	
				140				14.0	39	
				160				19.0	42	
				180				27.5	45	
				195				33.0	47	
				210				42.0	48	
				225				48.0	49	

注）出力が最大の場合は約65Wの消費電力になります。　　※特性はJIS C 9603に基づく

愛情点検

⛢長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- ●スイッチを入れても羽根が回転しない。
- ●運転中に異常音や振動がする。
- ●回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- ●こげ臭いにおいがする。

▶ **使用中止**　故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ
サービスを依頼されるとき便利です。

形　　名	
お買上げ年月日	年　　月　　日
お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿＿＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略号を使用）

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573−66−2111

この説明書は、再生紙を使用しています。